

2026 年 10 月 19 日

各位

会社名 シンバイオ製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 吉田 文紀
(コード番号: 4582)
問合せ先 IR 室 (TEL.03-5472-1125)

シンバイオ製薬、ブリンシドホビル (BCV) の商業化に備えて MTS Health Partners を起用し、欧州を中心とした戦略的提携活動を加速

シンバイオ製薬株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長兼CEO：吉田 文紀、以下「シンバイオ製薬」）は、造血幹細胞移植後のアデノウイルス感染症を対象としたブリンシドホビル（以下「BCV」）について、MTS Health Partners（本社：ニューヨーク）をアドバイザーとして起用し、早期承認・商業化が見込まれる欧州を中心とした戦略的パートナーの選定を開始しました。

代表取締役社長兼CEOの吉田文紀は「英国および欧州におけるブリンシドホビルの新薬承認に備えて安定供給体制を整備してまいります。そのためにも、難病・希少疾患の供給体制を具備した強力な企業とパートナーシップを締結することで、少しでも早く有効で安全な薬をお届けできるよう迅速に進めてまいります。」と述べております。

本件による2026年12月期の連結業績見通しへの影響はありません。

（注1） MTS Health Partnersについて

MTS Health Partnersは、あらゆる規模のヘルスケア企業に対し、顧客の利益に即した戦略・財務アドバイザリーサービスを提供するヘルスケア専門の投資銀行です。

グローバル企業からスタートアップ企業まで、幅広い顧客を対象に、ライフサイエンスおよびヘルスケアサービス分野におけるM&A、資金調達、戦略的事業再編について、高度な専門知識に基づくアドバイスを提供しています。

シンバイオ製薬について：3本の治療領域を柱としたBCVの事業戦略

シンバイオ製薬は2019年9月、ブリンシドホビル（BCV）のグローバルライセンスを取得して以来、3つの治療領域（二本鎖DNAウイルス感染症、固形がん、神経変性疾患）において、そのポテンシャルを掘り起こすことを目的として各治療領域の世界最高峰の研究機関と

共同研究を進めてきました。それぞれ、造血幹細胞移植後アデノウイルス感染症、進行性多巣性白質脳症（PML）、悪性脳腫瘍（グリオブラストーマ）、頭頸部がん、EBV 関連胃がんを中心に経営資源を集中して開発を進め、グローバルに事業展開をすることにより BCV の事業価値の最大化を目指しています。